

今週の富大生

Weekly TOMIDASEI

第28号

理学部 物理学科 3年
群馬県立桐生高等学校
(群馬県)

富山は挑戦できる環境がある街



学部が多様な総合大学へ

高校では理数科に所属していて、数学が得意でした。高校の先生から「物理が合っているんじゃないか」とアドバイスいただいたことがきっかけで、「物理」という、物の本質を数式を用いて解き明かす学問を大学でも学びたいと思いました。国立大学の中で「物理」を学べる大学はたくさんあります。その中でも、9学部を有する総合大学であること、他学部の学生と学ぶ授業があること（学部横断型授業）、街の中心部に近いことに惹かれて富山大学を受験し、合格しました。

県主催のビジネス研修に参加

1年次の春休みに入る前に、富山県主催の「ポर्टランド起業・ビジネス研修」の案内を受けました。もともと海外には興味があったので、「アメリカへ行けるチャンスだ」という気持ちで初めて海外に行きました。

参加者との出会いから「HATCH」へ

研修参加者は富山県にゆかりがある大学生・高専生や大学院生で、中にはすでに起業している学生もいました。それぞれが目標を持っていたり、将来のビジョンがある中で僕も「キラキラしてる大学生、面白い！」と刺激を受けました。大学で学ぶ物理も大切にしながら、社会人と繋がる場へ出ていこうという気持ちになりました。研修参加学生の中に、「とやまビジネスインキュベーション 中央通りオフィスHATCH（以下HATCH）」（富山市中央通りで起業支援やコワーキングスペースを提供）の学生スタッフがいて、僕も帰国後「HATCH」イベントに参加し、スタッフになることを決めました。「HATCH」では富山の企業と学生の交流イベントの企画に携わり、社会人との接点があるところが面白く、自分が知りえないことを学べるところが大きな魅力です。

「物理」と「HATCH」それぞれに面白さ

富山大学の物理学科では、生徒一人ひとりに助言教員がついてくださって、勉強や進路について気軽に相談できます。物理学科は1学年約40人で、そこまで多くないので先生の目がいきわたる印象です。僕は大学で物理の学びを深めながら、「HATCH」では大人と関わり、大学以外での気づきを得て視野を広げています。「大学では物理の勉強をする場、「HATCH」ではいろいろな人と繋がってアウトプットする経験を積み場」というふうないい意味で切り分けて考えています。



母校の後輩へ

大学では様々なバックグラウンドの人に出会えます。高校生の時はいい大学に入学することがゴールだと思っていましたが、入学後の経験や出会う人々のおかげで、選択肢が増え、新たな目標ができました。迷ったら立ち止まるのではなく、ほんの少しでも一歩踏み出してみましょう！その足跡が自分を導く光になります。